

# 英語を楽しく

☆ アメリカの人が少ない単語で話せるわけ

「Go」のひとつだけでも、使い方でこんなにも言える。

① I go to school. (行く)

わたしは、学校に行く。

左の go を別の  
単語にすると

stop, give up

② Some luxuries must go. (やめる)

贅沢の中にはやめなければならない物もある。

be kept

③ Spoons and forks go in the drawer. (置かれる)

スプーンとフォークがこの引き出しに入っている

proceed, appeal

④ I will go to court. (赴く、訴える)

私は裁判所に訴えよう。

weak,

My sight is going. (弱まる、だめになる)

私は視力が衰えつつある。

be atrophied

◇ 簡単な単語だけど、その単語の使い方は、やはりその言葉を話す国で育たなければ、なかなか会得できないと思います。

## ○ go のある言葉

go across ~横切る

go back 帰る

go after ~を追いかける

go by 通り過ぎる

go against ~に反対する

go for ~を呼びに行く

go ahead ~に反抗する

Go for it! がんばれ!

go along 進んでいく

go into ~に入る

go away 立ち去る

go out 出て行く

○ 「be 動詞」を取ってみても  
こんなにたくさん言葉があります。

be at sea 乗船している



go to bed = sleep は  
よく知る言葉ですね

be at school 学校にいる



だれもが

be at table 食事中である



be at tea お茶を飲んでいる



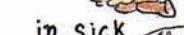
be in class 授業中である



be in bed 寝ている



be in sick 病気である

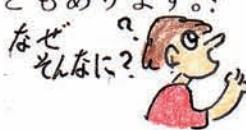


英語の特徴=一つの単語に様々な意味を持たせていること=幅広い使用

日本人から見ると「go across ~」などは英文を作るためのひとつのイディオムですが欧米の人にとってそれは何でもないもの。無意識に使っている言葉で、暗記して使っているという感覚はありません。

ですから、日本人が、

「英会話のためにイディオムを暗記しなくちゃ。」  
と言うととても不思議がることもあります。?



850の idiom を  
おぼえなくちゃ!



Yoshi